

# 公共施設の集約化・複合化事例

---

---

# 公共施設の複合化による効果

- 公共施設に新たな機能が複合化されることにより、以下の効果が期待されます。

## 新たなニーズへの対応

地域のニーズから公共施設に新たに付加する機能を検討

新しく施設を整備するよりも  
低コストでニーズに対応可

## 地域住民の交流の活性化

多世代の地域住民が利用できる  
スペースを用意

世代を超えた交流を  
生みやすい環境を提供

- 公共施設に新たな機能を複合化する際には、学校など用途によっては安全、防犯面に配慮することが必要です。以下のようなセキュリティ対策を講じることが考えられます。

## 動線の分離

地域住民が利用できる出入口を  
制限することで、  
児童・生徒の安全を確保

## 地域の見守り

地域住民によるボランティアを  
活用し、住民の目で児童・生徒  
の安全を確保

# 公共施設効果(交流)

## 施設利用者による交流

- 公共施設を多機能化・複合化することによって以下のような交流が生まれることが期待できる。



地域の保育園児が長寿のお祝いのため大崎ゆうゆうプラザを訪問し、利用者と一緒に蓮華草の種まきを実施。この他、地域住民や高齢者団体、保育園など幅広い世代の交流が図られている。

出所：品川区ホームページ (<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/page000029400/hpg000029368.htm>)

## ポイント

- 既存施設を利用した多世代交流イベントの開催事例であるが、公共施設を複合化することで、よりイベントの開催が容易になるだけでなく、日常的な交流が生まれることが期待できる

# 公共施設効果(交流)

## 施設利用者による交流

- 公共施設を多機能化・複合化することによって以下のような交流が生まれることが期待できる。



社会福祉協議会で実施している「ふれあいきいきサロン」の活動の一環で、地域の高齢者から子どもたちへ昔の話や遊びを通して交流を実施。

出所: 西蒲区社会福祉協議会ホームページ (<http://syakyo-niigatacity-ward.jp/nishikan/index.html>)

## ポイント

- 地域の社会系団体と協力することで多世代間の交流活動を企画することが可能である
- 公共施設を複合化することによって子どもから高齢者まで身近に利用できる場を提供することが可能となる

# 公共施設の複合化(野田市の事例)

## いちいのホール

- 市町村合併に伴い発生した旧町役場の空きスペースの有効活用



改修前と改修後の利用形態

フロア	旧関宿町庁舎	改修	いちいのホール
5階	会議室	→	コミュニティ会館
4階	議場 議会事務局		関根名人記念館 ことば相談室
3階	町役場	→	せきやど図書館
2階			つどいの広場
1階			関宿支所、相談室、 行政資料・喫茶コーナー

旧町役場の空きスペースを改修して有効利用。従来からの住民要望を反映して機能を決定

地域のコミュニティや文化活動の拠点として活用

出所:野田市役所、静岡県立大学ホームページ

## 集約化のポイント

- 従来からの住民要望を反映した機能を付加
- 館内施設の休館日の調整、ホールと市内全域をつなぐコミュニティバスの運行などソフト面の取り組みも行うことで利用率を高めている。

# 公共施設の複合化(浜松市の事例)

## 佐久間協働センター

- 利用者の減少、施設の老朽化に伴い、複数の施設を移転・集約することで施設総量を縮減

・金融機関  
・郵便局  
・国出先機関  
・民間保険会社等  
・NPO団体

(貸付)

【佐久間協働センター】  
※旧佐久間町役場・ホール



☆貸付により  
890万円/年の収入

老朽化の進行と利用率の低迷が問題となっていた郷土遺産保存館、就業改善センターを旧町役場に移転・集約。



【さくま郷土遺産保存館:統合・廃止】  
解体・借地の返還



【佐久間就業改善センター:統合・管変】

建物の管理主体を自治会に変更して貸付を行い、賃料収入を獲得

出所:浜松市におけるファシリティマネジメントに基づく資産経営の取組み～持続可能な行財政運営を目指して～

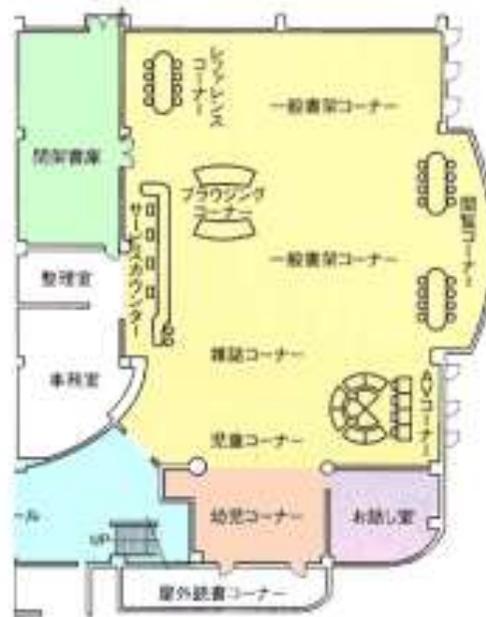
## 集約化のポイント

- 老朽化の進行、施設利用の低迷を機に機能を移転・集約。施設総量の縮減を達成
- 管理主体を自治会に変更し、貸付を行うことで賃料収入が発生

# 公共施設の複合化(北海道浦幌町の事例)

## 浦幌町教育文化センター

- 点在していた図書館と博物館を複合化した施設。図書館、博物館の連携した企画展示が生まれる。



1階のフロアに図書館と博物館が併設しており、学習の場として広く利用されている。

連携した事業を展開することでコミュニティの拠点作りとなっている。  
また、移動することがないので、乳児を抱える家庭や高齢者への配慮がなされる施設になった。

出所: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/gakugei/\\_icsFiles/afieldfile/2017/06/26/1387273\\_1\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/_icsFiles/afieldfile/2017/06/26/1387273_1_1.pdf)

## ポイント

- 施設整備前では施設が点在していたことで、利用者が必要に応じて移動をしていたが、複合化・集約化により、一度で利用できる効果が生まれた。

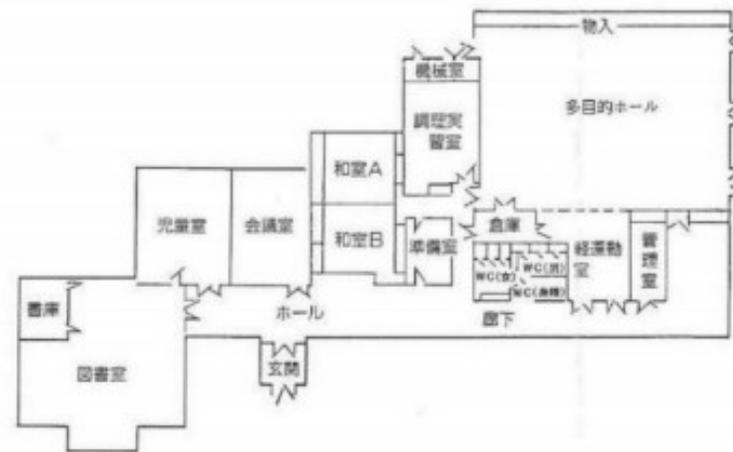
# 公共施設の複合化(北海道勇払郡占冠村の事例)

## 占冠村コミュニティプラザ(占冠村公民館)

- 村民集会室、図書室を役場庁舎内に設置していたが、役場庁舎の改装に伴い、村民の集いの場として多目的施設「占冠村コミュニティプラザ」を整備した。



占冠村中心部に位置し、道の駅「自然体験占冠」・占冠村ショッピングセンターに隣接していることから、住民の身近な生涯学習施設として利用が促進されている。



出所: 占冠村HP (<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/kyouiku/nmudtq00000053py.html>)

## ポイント

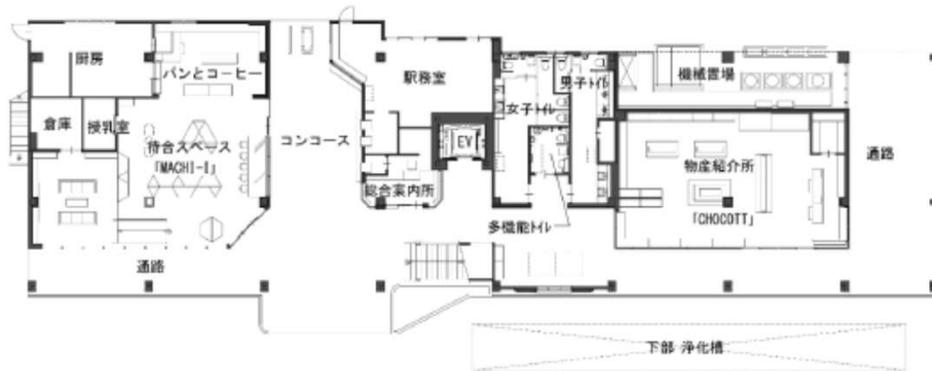
- 子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会が創出されている
- 各種公民館教室やサークル活動、各種団体の会議、イベント等、学びの場、集いの場として利用されている。

# 公共施設の複合化(田川町の事例)

## 田川伊田駅舎

- 駅舎を有効活用し、飲食店やゲストハウス(簡易宿泊施設)、展望デッキなどを整備することで賑わい拠点とする。

田川伊田駅 改修後 1階



田川伊田駅 改修後 3階



田川伊田駅 改修後 2階



テナントが撤退し、空き店舗となっていた駅舎を市が購入し、宿泊施設や賑わい拠点として整備。

リニューアルオープン後は地元まちづくり会社が運営し、民間事業者の創意工夫が活かされる。

出所:福岡県田川市ホームページ

## 集約化のポイント

- 地域の玄関口及びシンボルとしての役割をもつ駅舎を活用し、賑わいを創出。
- 運営は民間事業者が実施。伊田商店街振興組合を代表とした共同体がまちづくり会社である「株式会社デザインステーション」を設立して運営を実施する予定。

# 公共施設の複合化(嘉麻市の事例)

## 嘉麻市立下山田小学校

- 小学校の敷地内にホール・会議室・調理室といった社会教育施設を併設させ、地域コミュニティの核を形成



地域におけるイベントで利用する一方、式典の会場等として学校の行事においても利用している。

調理場・和室が併設しており、家庭科の授業やクラブ活動で利用されている。

その他にも図書室やアリーナ、運動場などが地域開放施設として利用されている。



出所: 嘉麻市立下山田小学校ホームページ、文部科学省発布資料

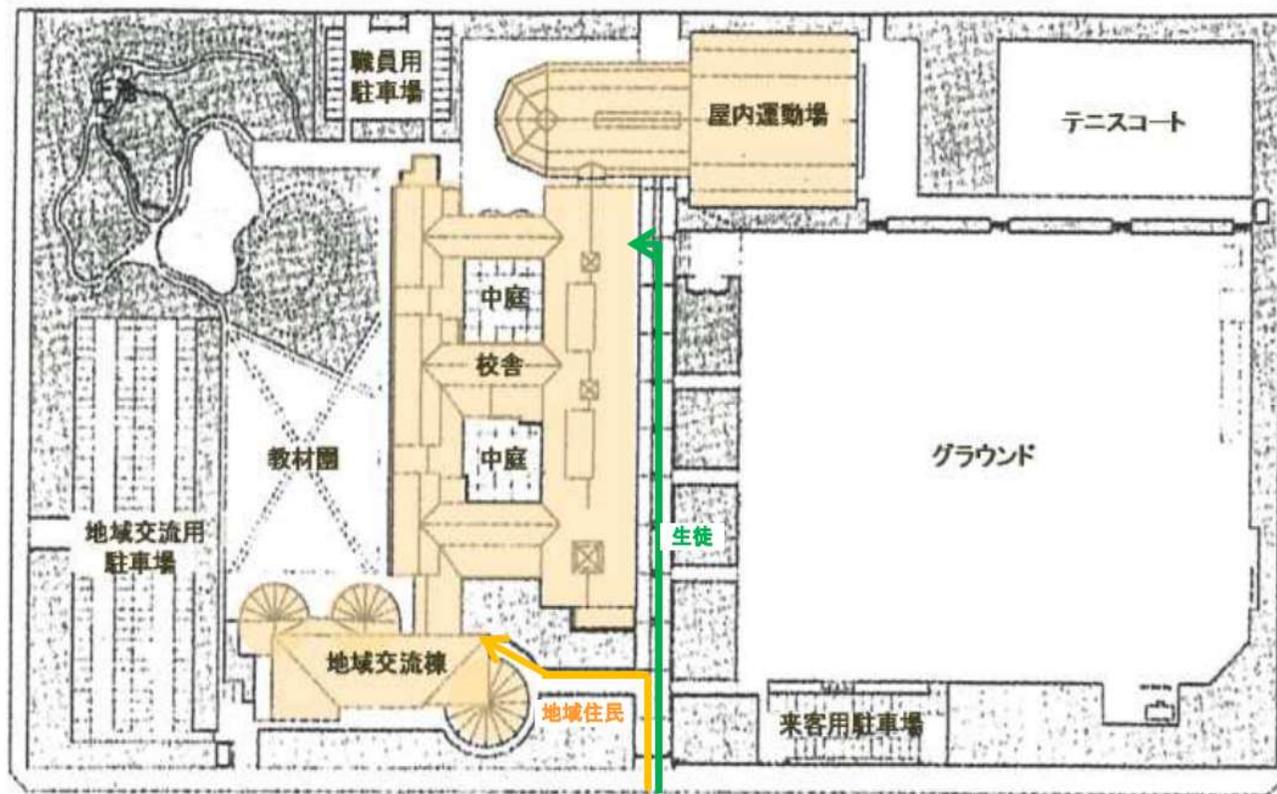
## 集約化のポイント

- アリーナ、運動場、白馬ホールは小学校および教育委員会が予約管理を実施
- 社会教育施設を併設させることで、地域住民の学習拠点として、また児童の交流の場として機能している

# 公共施設の複合化(聖籠町の事例)

## 聖籠町立聖籠中学校

- 中学校に地域交流ラウンジを複合化



町民アカデミーや編集工房といった地域活動の場が設けられている。また、地域住民が自主的に管理を行うことで、いつでも気軽に利用できる場を目指している。

出所: 聖籠町立聖籠中学校ホームページ、文部科学省発布資料

## 集約化のポイント

- 学校の周囲には囲障を設けず、地域に開かれたつくりとなっている
- 中学校の防犯上の対策として、生徒と地域住民の利用する動線が分けられており、地域交流棟の入り口でボランティア団体によるチェックが行われる

# 公共施設の複合化(焼津市の事例)

## 焼津市立東益津小学校

- 校舎を建替えた際に、小学校と公民館を複合化し、世代間交流の拠点として活用



図書館と家庭科室は公民館と共用、パソコン室、図工室、音楽室は地域に開放を行っている。



多目的ホールでは、高齢者学級と小学校4年生とのパートナー交流事業や、お母さんとの給食交流などの世代間交流を促進し、学校敷地内に設置されたメリットを生かした事業展開を行っている。

出所: 焼津市立東益津小学校ホームページ

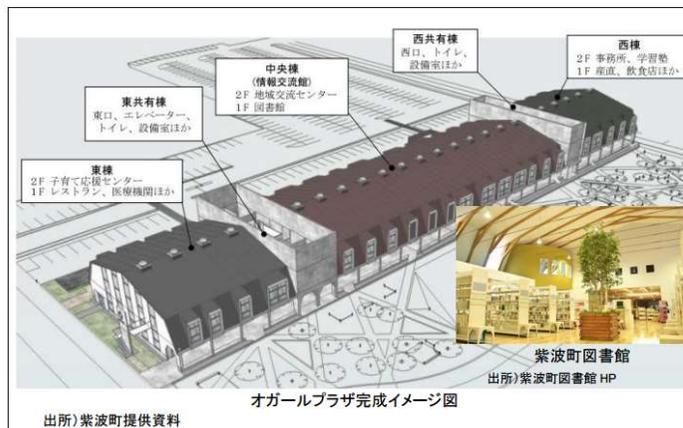
## 集約化のポイント

- 小学校と公民館を複合化するだけでなく、様々なコミュニティ活動や世代間交流を促進する学校教育、生涯学習のプログラムを実施することで、施設利用者間の交流を実現している
- 校内5ヶ所の防犯カメラ、図書館パートナー30名、安全パートナー27名により子どもたちの見守りを実施

# 公共施設の複合化(紫波町の事例)

## オガールプラザ

- 町所有の未利用地を活用し、様々な機能を複合した交流施設



子育て支援センター、カフェ、眼科、紫波マルシェ(産直)、学習塾、事務所等が入る複合施設



所有関係は、公共施設が紫波町、民間施設はオガールプラザ株式会社

出所:国土交通省、紫波町ホームページ

## 集約化のポイント

- オガールプラザ株式会社は、公共施設部分の町への売却や町からの出資だけでなく、民間金融機関の借り入れも受けて資金を調達。金融機関からのチェックを入れるスキームで経営的な目線が取り入れられている。
- 町民に開放される図書館や会議室を中心に、その周辺にカフェや飲食店舗、マルシェなどの施設が配置され、相乗効果を生んでいる。

# 公共施設の複合化(新見市の事例)

## きらめき広場・哲西

- 合併の過程で住民サービスの低下が危惧され、まちづくりを包括的に進めるNPOきらめき広場が設立



地域のほぼ中央に位置(最遠隔世帯からでも自動車で15分)

地域の要望の強い保険医療施設を中心に、それらと文化ホール・生涯学習センター・役場庁舎を1周できる回廊で結ぶ。



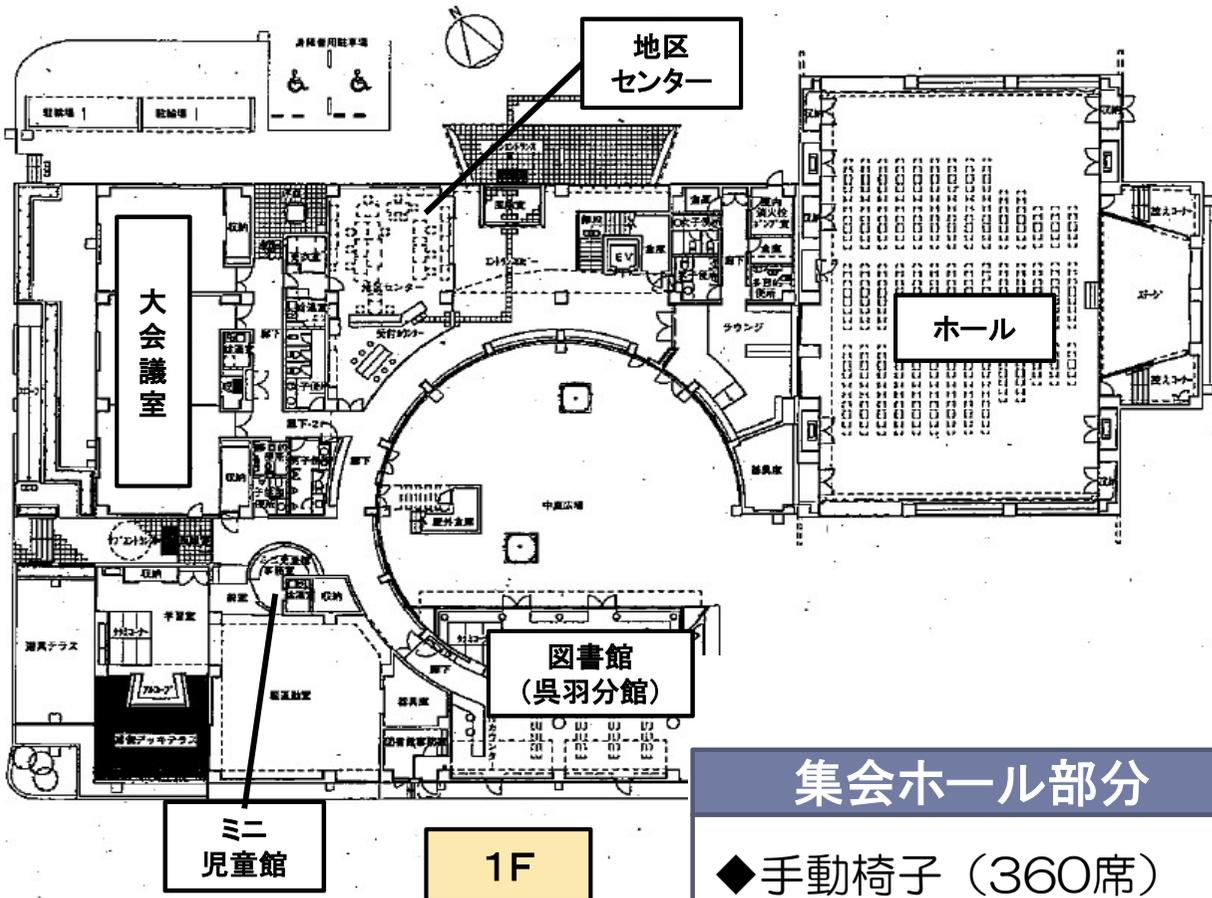
出所:国土交通省ホームページ

## 集約化のポイント

- 様々な施設を複合し、それらを回廊で結ぶなどセクション間の連携を促した。
- 様々な機能が地域の中心にあり、利便性が向上した。また、様々な目的で訪れる人々によって賑わいが創出された。

- 公民館機能
- 地区センター機能
- ホール機能
- 図書館機能
- 児童館機能

所在地 富山市呉羽町2920  
敷地面積 6,427.40㎡  
建物延床面積 2,143.70㎡  
建築年度 平成23年度



### 集会ホール部分

- ◆ 手動椅子 (360席)
- ◆ 舞台 (奥行5.5m×横最大10m)

### 市民利用スペース

- ◆ 大会議室 (可動式間仕切でレイアウト変更可。収納ステージもあり)
- ◆ 和室
- ◆ 料理室
- ◆ ミニ児童館 (学習室・軽運動室併設)
- ◆ 図書館呉羽分館
- ◆ 集会ホール

